

平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 コスモ・バイオ株式会社

コード番号 3386 URL <http://www.cosmobio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠松 敏明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務部長

(氏名) 田中 知

TEL 03-5632-9600

四半期報告書提出予定日 平成23年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	2,137	15.0	432	10.5	416	7.5	216	△7.5
22年12月期第1四半期	1,857	12.4	390	38.5	387	35.2	234	33.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	3,584.35	—
22年12月期第1四半期	3,876.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	6,428	5,190	73.8	78,496.06
22年12月期	6,170	5,057	74.9	76,418.19

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 4,747百万円 22年12月期 4,621百万円

2. 配当の状況

	第1四半期末	第2四半期末	年間配当金		合計
			第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	1,800.00	1,800.00
23年12月期 (予想)	—	800.00	—	1,000.00	1,800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,978	21.0	564	22.3	567	27.4	310	11.7	5,138.18
通期	7,529	12.8	765	9.2	783	23.2	433	16.0	7,170.68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年12月期1Q 60,480株 22年12月期 60,480株

② 期末自己株式数 23年12月期1Q 一株 22年12月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年12月期1Q 60,480株 22年12月期1Q 60,480株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における当社を取り巻く環境は、3月末を年度末とする大学・公的研究機関、民間企業の需要がありましたが、バイオ研究支援市場全体としては弱い動向でした。また、前第1四半期連結会計期間においては大規模補正予算の執行等により研究開発関係の購買活動は活発であったのに対し、当第1四半期連結会計期間においては補正予算の規模も小さく低調な動きでありました。さらに、東日本大震災による影響もあったものと捉えております。一方、為替レートは当第1四半期連結会計期間平均82円/ドル(今期計画90円/ドル)でありました。

このような環境下、当社は、前第2四半期連結会計期間よりピーエム機器株式会社を連結業績に取り込み、当第1四半期連結会計期間における売上高は2,137百万円(前年同期比15.0%増)、売上総利益は956百万円(前年同期比19.3%増)、売上総利益率は44.8%となりました。

販売管理費等の費用面につきましては、ほぼ計画通りとし、営業利益は432百万円(前年同期比10.5%増)、経常利益は416百万円(前年同期比7.5%増)、四半期純利益は216百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

なお、売上高を品目別にみますと、研究用試薬1,487百万円(前年同期比11.2%減)、機器604百万円(前年同期比371.7%増)、臨床検査薬45百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が117百万円増加したこと及び売上債権(受取手形及び売掛金)が359百万円増加したこと等により、387百万円増加いたしました。有形固定資産につきましては、6百万円増加いたしました。無形固定資産につきましては、11百万円減少いたしました。投資その他の資産につきましては、123百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,428百万円(前連結会計年度末比258百万円増)となりました。

(負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、仕入債務(支払手形及び買掛金)が60百万円増加、未払法人税等が58百万円増加したこと等により、126百万円増加いたしました。固定負債につきましては、1百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は1,238百万円(前連結会計年度末比125百万円増)となりました。

(純資産)

主に利益剰余金が107百万円増加したことにより、当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,190百万円(前連結会計年度末比133百万円増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が407百万円となったものの、売上債権の増加及び法人税等の支払い等を主に、123百万円の収入(前年同四半期は294百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、100百万円の収入(前年同四半期は304百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により109百万円の支出(前年同四半期は72百万円の支出)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、当期首の1,181百万円から117百万円増加して1,299百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月14日の決算発表時に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第1四半期連結会計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は13百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始における資産除去債務の変動額は25百万円であります。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,097	980
受取手形及び売掛金	2,594	2,235
有価証券	605	606
商品及び製品	607	684
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	18	17
その他	192	203
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	5,107	4,720
固定資産		
有形固定資産	170	163
無形固定資産		
のれん	57	61
その他	122	130
無形固定資産合計	179	191
投資その他の資産		
投資有価証券	628	746
関係会社株式	11	11
その他	332	338
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	969	1,093
固定資産合計	1,320	1,449
資産合計	6,428	6,170

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	457	397
短期借入金	25	20
未払法人税等	173	115
その他	301	298
流動負債合計	957	831
固定負債		
退職給付引当金	155	172
役員退職慰労引当金	17	15
負ののれん	12	12
その他	94	80
固定負債合計	280	281
負債合計	1,238	1,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	2,632	2,524
株主資本合計	4,772	4,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△25	△43
評価・換算差額等合計	△25	△43
少数株主持分	442	435
純資産合計	5,190	5,057
負債純資産合計	6,428	6,170

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,857	2,137
売上原価	1,055	1,180
売上総利益	802	956
販売費及び一般管理費	411	524
営業利益	390	432
営業外収益		
受取利息	3	2
持分法による投資利益	19	—
その他	4	5
営業外収益合計	27	7
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	31	23
営業外費用合計	31	23
経常利益	387	416
特別利益		
保険解約返戻金	4	3
その他	0	1
特別利益合計	4	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	—	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	391	407
法人税等	156	178
少数株主損益調整前四半期純利益	—	228
少数株主利益	—	12
四半期純利益	234	216

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	391	407
減価償却費	12	14
のれん償却額	4	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△110	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△16
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	0	0
固定資産除却損	0	0
為替差損益(△は益)	△1	△2
持分法による投資損益(△は益)	△19	—
売上債権の増減額(△は増加)	△472	△359
たな卸資産の増減額(△は増加)	37	75
仕入債務の増減額(△は減少)	69	60
その他	58	47
小計	△34	229
利息及び配当金の受取額	22	4
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△283	△109
営業活動によるキャッシュ・フロー	△294	123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	29	100
有形固定資産の取得による支出	△10	△13
無形固定資産の取得による支出	△38	△0
投資有価証券の取得による支出	△25	—
投資有価証券の売却による収入	—	13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△258	—
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304	100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5
配当金の支払額	△72	△108
少数株主への配当金の支払額	—	△5
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72	△109
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△670	117
現金及び現金同等物の期首残高	1,411	1,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	741	1,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。